



Q. 次の絵を見て、あとの問題に挑戦しよう。



① この人物の名前を答えよう。

平清盛

② 次の文章の () をうめてみよう。

奈良時代の僧行基によって修築された (^{おわだのとり} 大輪田泊) は、後に (日宋) 貿易に力を注ぐ (①の人物) によって整備され、国際港として歩み始めた。平氏が滅亡したことで、一時中断したが、港はやがて (^{ひょうごのつ} 兵庫津) とよばれるようになり、国内外を問わず多くの船が行き交う港となった。

室町時代に入っても (日明) 貿易の拠点となり、重要性が増していった。

年 組 番

③ 平安時代の終わりごろ、①の人物と争った源氏のかしらの名前を答えよう。

源頼朝

④ 源氏との争乱の末、1185年に平氏が滅亡に追い込まれた場所は、現在の山口県にある。何というところか、答えよう。

壇ノ浦

⑤ 絵の人物は、神戸の港にやって来る船を風から守るため、海をうめたて人工島をつかった。その島は何と呼ばれるか、答えよう。

ただし、詳しい場所はわかっていないんだ。

^{きょうがしま} 経ヶ島

⑥ 源氏との争乱は、およそ20回行われている。戦いを1つ選んで、内容やエピソードを自由に調べてみよう。

(例) 生田・一の谷 の戦い

内容やエピソードなど

「生田・一の谷の戦い」は神戸が舞台となった戦いだよ。有名な「^{ひよどりごえ さかお} 鶴越の逆落とし」や「^{あつもり さいご} 敦盛の最期」など、たくさんのエピソードが語り継がれているんだ。ぜひ、調べてみよう！

⑦ 絵の人物はどのようにして、政治の権力をにぎったのか。理由を説明してみよう。

- ・自分のおすめを天皇のきさきにし、朝廷の重要な地位の多くを平氏の一族が占めた。
 - ・中国(宋)との貿易を進めて、財力をたくわえた。
 - ・平治の乱などの戦いに勝ち、ライバルを倒した。
- など、いろんな理由が考えられるね。「平家にあらずんば人にあらず」ということばもあつたくらいなんだよ。